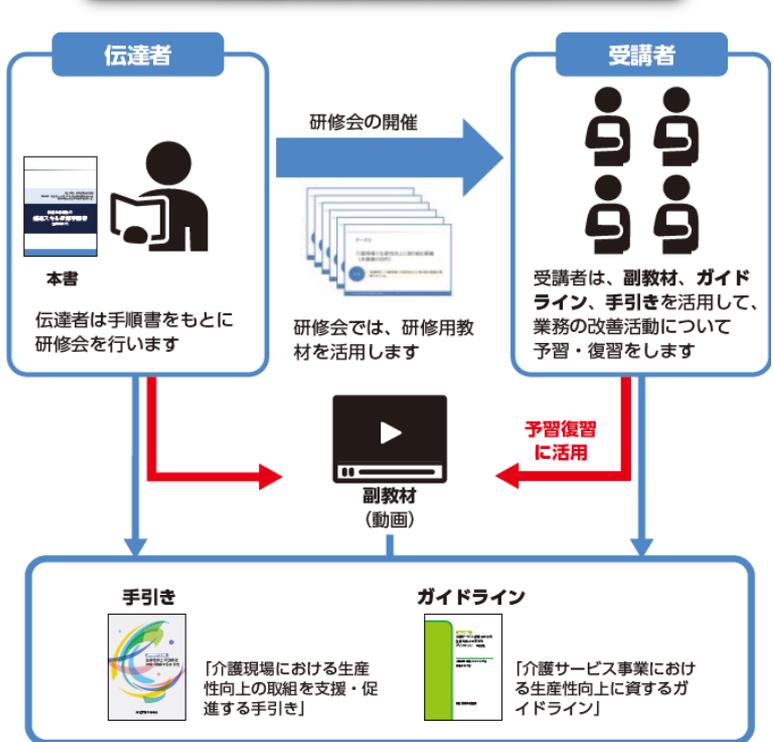


業務改善活動の推進スキル研修手順書（伝達者向け）【概要版】

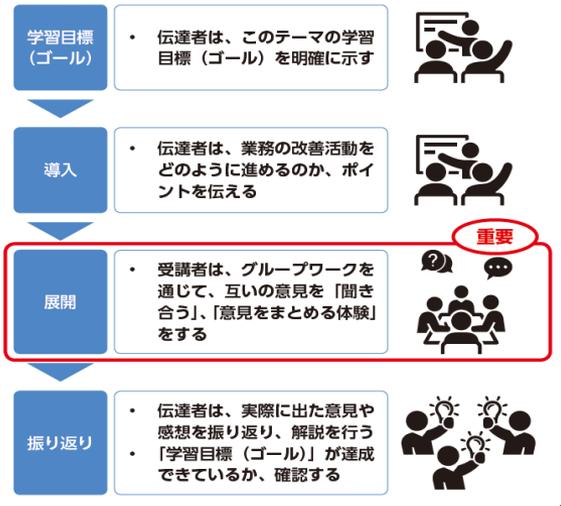
業務改善活動の推進スキル研修を行う背景・目的

- ・ 業務の改善活動は一過性の活動ではなく継続的活動として取り組むことでその成果は一層大きくなります。
- ・ プロジェクトリーダーが孤軍奮闘する活動のあり方ではなく、プロジェクトメンバー一人一人が主体的に取り組む活動であれば、プロジェクトリーダーが代わっても活動の継続は大いに期待されます。変化の激しい今だからこそ、役職や立場に依存するのではなく、一人一人が主体的にプロジェクトに取り組み、それを支援・促進する「推進スキル」が大切になっています。
- ・ リーダーや上司の「指示を待つ」のではなく、主体的に取組が進められるようメンバーの改善活動を促すスキルとして、「推進スキル」を備えた人材を育成していきます。
- ・ 「推進スキル」を伝える人を本書では、「伝達者」と呼び、推進スキル研修会を開催し、業務の改善活動の進め方に基づき推進スキルを伝えます。

推進スキル研修の全体像



推進スキル研修の流れ



推進スキル研修会のテーマ

	テーマ
第1回	介護現場で生産性向上に取り組む意義
第2回	推進スキルを持つ人の役割
第3回	ファシリテーションスキル（5つの基本）
第4回	ファシリテーションスキル（段階別スキル）
第5回	業務改善プロジェクトの進め方
第6回	業務改善の標準的なステップ（手順1～6）
第7回	緩やかな因果関係図を描く（課題の構造の把握）
第8回	改善方針シートの作成
第9回	進捗管理シートの作成
第10回	実行、振り返り、練り直し
第11回	情報共有の工夫
第12回	理念と行動指針の徹底

研修手順書の構成

研修会はテーマ別に全12回で構成され、各回のポイントを見開き2ページでコンパクトにまとめている。

